

文部科学省 免疫・アレルギー関連研究 の平成17年度予算案について

平成17年2月4日
文部科学省研究振興局

理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター

平成17年度予算案 42.0億円 (平成16年度予算額 38.6億円)

免疫システムの基礎的・総合的研究を行うことにより、
アトピー・花粉症等のアレルギー疾患の原因究明と治療法の開発
がん・感染症等に対する免疫メカニズムに基づいた治療法の開発
移植医療に伴う拒絶反応の解明と対処方法の開発
について基礎的知見を築き、21世紀の我が国の医療的基盤の高度化に
資する。

- 平成13年7月に発足、平成16年4月の横浜研究所内のセンター棟開所により、研究者が集結、免疫・アレルギーシステムの基礎的・総合的解明の研究を通し、免疫・アレルギー疾患等の克服に貢献するための国内唯一の総合研究機関としての本格的活動を開始。
- 臨床応用の推進のため、国立病院機構相模原病院と研究協力に関する協定を取り交わしており、アレルギーワクチン開発などの共同研究を進めている。
- 国立病院機構相模原病院のほか、千葉大学、東京医科歯科大学、大阪大学などと臨床応用推進のための共同研究を推進。
- 医療への応用の領域研究を平成17年度新規に計上しており、花粉症等の解明に向け、臨床応用に資する研究の更なる推進を図る。



競争的資金においても大学等における研究を推進。例えば、科学研究費補助金においては、免疫・アレルギー関係研究について、平成16年度136課題に3.2億円が交付され、研究が実施されている。